

研究科共通科目	1 単位	担当教員 比屋根 哲
<p>講義概要</p> <p>(目標) 社会人研究者に求められる研究活動や専門外の人への普及活動について、社会人学生のそれぞれの職場での実践結果を報告（プレゼンテーション）してもらい、柔軟な研究応用力と普及能力を高める助言・指導を行います。</p> <p>(内容) 社会人の職場での研究活動・普及活動に関して多面的な指導を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事前指導：入学年度当初に、各職場での学位論文研究以外での研究・普及活動（例：研究機関が実施する公開講座や市民向け研究成果報告会等での発表）について、研究・普及活動計画を立て、主指導教員に事前指導を受ける。 2) 実践：提出した研究・普及活動計画に基づき、適宜、主指導教員や副指導教員に相談し、指導を受けながら各職場で実践する。 3) プレゼンテーション：実践した研究・普及活動について、実践の内容、成果、課題についてまとめた研究・普及活動報告書及び証拠書類をまとめて主指導教員に提出するとともに、主指導教員を含む発表会でプレゼンテーションを行う。 4) 事後指導：プレゼンテーションおよび報告書の内容をもとに、報告会参加者から助言・指導を受ける。 		
<p>評価の方法</p> <p>研究・普及活動報告書（様式7）を、用紙2枚程度にまとめて作成し、実践の概要、実践の成果と課題について記述し、証拠書類と併せて主指導教員が指定した期日までに提出してください。</p> <p>研究・普及活動報告書の内容およびプレゼンテーションの内容によって、総合的に評価します。</p>		
<p>講義履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの職場で、この単位の取得に可能な実践が可能かを判断し、かつ、内容について適当かどうか主指導教員と相談してから履修申告するようにしてください。 ・ 履修申告時には、具体的な研究・普及活動の日程や内容が明らかでない場合でも、「〇月頃、公開講座で報告予定」等として計画を立て提出することができます。 ・ 職場での研究・普及活動の実践では、連大教員は原則として立ち会えませんが、実施計画が明らかになった時点で、適宜、主指導教員と相談し助言を受けてください。 ・ 各実践終了後は、できるだけ早い時期に主指導教員に報告してください。 ・ プレゼンテーションの日時、場所、報告時間などは主指導教員の指示に従ってください。 		

社会人特別演習の流れ

